

校長通信

第5号 2016. 7. 22

「ソト」に目を向けよう！

いよいよ、明日から夏季休業に入ります。それぞれの学年にとって、とても意味のある夏休みだと思いますので、

この夏休みをどのように過ごしてほしいか？

について、私から伝えたいと思います。

まず、一般的なことです。〇〇高校の生徒には、もっと外の世界に目を向けてほしいと思っています。外の世界に目を向けて、もっと知的刺激を受けてほしいと思います。学校で過ごすほとんどの時間は、授業・部活・行事です。この「三色」で学校生活は描くことができます。しかし、この三色以外に、もっといろいろな色で高校生活を描いてほしい！そういう思いが私にはあります。

たとえば、今年外務省の「KAKEHASHI PROJECT」でアメリカのシカゴに国際交流に行くことになりました。1年生・2年生を対象に募集したところ、多くの生徒が応募してくれました。かなり厳しい選考になりましたが、派遣される生徒23名が決定しました。このように「ソト」の世界に飛び出そうというのは、とても良いことだと思います。

ただ、「ソト」の世界を見ることは、何も外国に行くことだけではありません。そのことを伝えていきたいと思います。

【1】1年・2年は、大学のオープンキャンパスに足を運びましょう！

(1) 大学は「知の殿堂」！

1・2年生の皆さん、この夏には大学のオープンキャンパスに行きましょう。大学とは、どういうものなのかをまずは知ることです。1年生の皆さんは、この4月の学習合宿で同志社大学の京田辺キャンパスに行きましたね。そして、キャンパスめぐりを行いました。初めて大学というものに足を踏み入れた人たちがほとんどだと思いますが、あの企画は、『大学に足を踏み入れた』という内容のもので、『大学を知る』ということからは程遠いと思ってください。どちらかといえば、『大学に遠足に行った』という状態に近いと思います。

本来、大学とは何かということ、「教育と研究の場」ということです。学部生を教育することと、院生、助手、講師、准教授、教授たちが研究をする場でもあるのです。ですから、「大学を知る」ということは、

★その大学で何が学べるか？

★その大学で何が研究されているか？

ということになります。ということは、「何を学びたいか？」という知的関心が大学進学へのベースには必要だといえます。

皆さん！知っていますか？今、日本の大学は大きく変わろうとしているのです。文部科学省は、平成25年度あたりから大学、高校、そして大学と高校の接続について、大きく変革しようとしています。それを少し紹介しましょう。

今文部科学省は、大学に対して次の3つの方針を明確にするように求めています。それは、

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

です。この事を簡単に言います。つまり、

大学は、こんな教育（カリキュラム・ポリシー）をして、こんな人材を輩出するつもり（ディプロマ・ポリシー）。だから、こんな人に大学を志願してほしい（アドミッション・ポリシー）

と言っているのです。要はこれだけの事なのですが、文科省の意図は、「今まで日本の大学は入学するのは大変だったが、4年間ほとんど勉強もしないでレジャー化していた。これでは世界に通用する人材は育成できない。欧米のように卒業するのが難しい大学にしてきっちり人材を育てよう」ということです。

(2) 秋田の大学が世界から注目!

今、日本の大学はこの欧米化の方向で動いています。その典型が秋田県にある国際教養大学です(左がシンボルマーク)。国立ではないですよ。公立大学です。開校してまだ10年あまりです。2004年の開校です。しかし、この東北の周りには自然しかない大学が、日本中から、大きさではなく世界から注目を浴びているのです。毎年志願者が増えて、「東大に入るより難しい」と言う人もいます。また、卒業生の就職率は100%、卒業生の評価はとて高く、企業からの就職斡旋の要望が年々増えているという大学なのです。



何がそんなに国際教養大学が素晴らしいのか?それは、「なぜ国際教養大学はすごいのか」(PHP新書)を読んでもらえればわかりますが、少しだけ紹介しましょう。

凄い事その1⇒すべて英語の少人数授業(外国人教員の割合54%)

凄い事その2⇒全学生が1年間世界へ留学

凄い事その3⇒入学したら全員寮生活、5人に1人は留学生、図書館は24時間365日開館

凄い事その4⇒就職率約100%

です。そして何よりも大切にしているのが、「リベラルアーツ」です。私が以前に勤めていた進学校で「なんとしても国際教養大学に入学したい」と浪人して合格した女子生徒に出会いました。それほど直打ちのある大学です。

この動きは、あなたたちの視野にある大学にもあります。龍谷大学です。近畿大学よりも1年前に国際学部を龍谷大学は新設しています。そしてその学部のグローバルスタディーズ(GS)学科は、「日本で一番勉強する学科をめざす」と宣言しています。

1・2年生の皆さん、大学に行くということは、「知を極める」ということです。まずは、知的関心が大切。これが無ければ、大学の4年間はレジャー化してしまい、卒業時に大きく後悔してしまいます。関関同立というブランドだけでは、もう通用しません。大学で何を学んだか?誰に学んだか?何を研究したか?が問われる時代です。

何をするために大学に行くのか・・・そのことを見つけるために、この夏は大学に出かけましょう!

【2】「脳を鍛える、感性を鍛える」そんな場所に出かけましょう!

(1) 脳を鍛える!

私は、この1学期に先生方に言いました、「生徒にいろいろな学びの場があることを紹介してください」と。私は、授業だけでなく、いろいろな興味を持てる場所が必要だと考えています。たとえば、この1学期には、こんな場所が紹介されたと思います。

女子中高生夏の学校 2016 科学・技術・人との出会い(右がロゴマーク)



第11回女子中高生のための関西科学塾

です。クラスにも掲示されたと思いますが、目に留まりましたか?特に理系クラスにいる人、理系に進もうとしている人は、一度は目にとめてほしい内容です。こういう場所にどンドン足を運んでほしいのです。そして、他の学校の高校生と交流をしてほしいと思っています。

他にも8月1日から2日にかけて「アジア・オセアニア高校生フォーラム」が和歌山で開催されます。参加者は、防災・環境・観光文化・自由カテゴリーに分かれて、それぞれがプレゼン発表、討論を行います。

日本の高校生は、本当に討論が下手。プレゼンテーションが下手。これはもう世界の定評になりつつあります。完璧にアジアの高校生に負けています。若い時から、積極的にこのような場に出て、場数を踏み、世界の同世代と渡り合う経験が必要です。学生の間は、負けようが勝とうが生活には関係ありません。しかし、社会人になって海外の企業とプロジェクトのコンペティションで負けてしまえば、生活に影響が出てきます。それは大変なことです。学んだ知識を活かす、答えが一つ

でない問題に挑む、解答が無い難問にチャレンジする、そんなことに若い時から挑みましょう。

(2) 感性を鍛える！

そして、感性を鍛える場に出かけましょう。私は時々、無性に絵画を観たくなります。有名な絵画展があるときは、できる限り出かけていきます。最近、カラバッジョの「法悦のマグダラのマリア」を見たくて、東京出張の帰りに国立西洋美術館（世界文化遺産に登録されました！）に寄りました。「法悦のマグダラのマリア」は世界初の公開だったのです。「マリア」に行きつく前に、カラバッジョの絵画の迫りに圧倒されてしまいました。やはり「マリア」は素晴らしかった。思わず、絵葉書を買ってしまい、部屋に飾っています。

こんな風によく書くと何か「私は絵画がわかっています」というように聞こえ、偉そうに思われますが、私は全く美術には疎いのです。しかし、本物を見ることで、自分の感性にどう響くかをいつも試しています。そうやって、感性を鍛えているのです。それで、自分の好きな絵画も分かってきました。昔はレンブラントが好きでしたが、今ではバルビゾン派のコローの絵が好きです。私は絵画の専門家ではないので、この程度で良いと思っています。

あなたたちにも10代の頃から本物に出会って、感性を磨いてほしいと思っています。今、進学校では古典芸能の鑑賞会が盛んに行われています。海外に出かけて外国人に日本の文化を語る機会が訪れるからです。自国の文化を語れない者は、世界では一段下に見られます。それほど、外国人は自らのアイデンティティへのこだわりがあるのです。私が経験した学校でも、文楽、古典落語、能の鑑賞会が行われていました。こういう日本の古典芸能というのは、なかなか自分では行かないですね。でも、一度でも鑑賞したことがあるのと無いのとでは大違い。ぜひ一度足を運んでほしいと思います。

【3】3年生！今年の夏はヒッシのPATCH！

3年生にとっては、今年の夏はオープンキャンパスも関係ないですね。すでに志望校を決めているはずですから。休憩がてらに、美術館に行くのはいいかもしれませんが、何と云ってもメインは受験勉強です。3年生のみなさん！

本気になっていますか？

「本気になる」というのは、生活のリズムが変わるということ、24時間の時間の使い方が変わるということです。新しい受験生モードのルーチンが確立していればOK！そうでない人は、まだ本気になっていないとは言えません。そこで、夏休みの過ごし方を少しアドバイスします。

(1) 学校があるときのルーチンを大切に！

まず、夏休みだといって学校があるときと違うルーチンをする必要はありません。さらに言うと、学校があるときと同じルーチンにした方がよいといえます。特に大事なものは、起床時間と就寝時間、そして勉強開始時間です。これは学校があるときと同じ時間にすることが大切です。同じルーチンにすることにより、時間が有効的に使え、学校が再開した時にもリズムの変化に苦しまなくて済みます。

(2) 1日10時間以上、12時間は勉強できる！

夏休みは、とことん勉強できます。塾や予備校に行こうとしている人、学校の講習に参加しようとしている人は、その時間を大切にしてください。自分でコツコツ勉強しようとする人（私はこのタイプでした）は、1日10時間以上は勉強できますよ。それが下の図です。

7:00	8:30	12:00	13:00	17:00	19:00	21:00	24:00	
起床 朝食	勉強 3時間30分	昼食	勉強 4時間	休憩 夕食	勉強 2時間	風呂・ 休憩	勉強 2時間	就寝

このような1日のルーチンで大体11時間30分です。睡眠時間は7時間！まだまだ余裕です。目標！1日最低10時間、めざせ12時間です。

(3) 何をやるか？—苦手科目の克服

学校で授業があるときは、学校の勉強もしなくてはならないので、現役生はとにかく忙しい。そんな忙しい受験生でも夏

休みは、まとまった時間が取れます。そういう時にやっておきたいのが、苦手科目です。苦手科目は、苦手だからとにかく理解するまで時間がかかります。イライラする程時間がかかるのです。ですから、まとまった時間があるときにしっかり苦手科目に時間をかけましょう！

(4) やはり3年生も「ソト」をみましょう！

3年生もやはり〇〇高校だけでかたまたま「ソト」をみましょう。3年生の「ソト」とは、同じ大学をめざす〇〇以外の受験生です。

たとえば、私は△△高校に教頭として務めたことがあります。△△高校も戦前からある伝統校です。平成28年度の進路状況をホームページから見ると現役国公立合格者数132名です。このように書くと「凄い！」のですが、内訳は、阪大6名、神大6名、大阪市大26名、大阪府立大26名です。東京方面の大学に進学している生徒もいますが、和歌山大学30名にみられるように、結構地方の国公立大学に進学しています。私のいる時代から「地方の国公立に注目しよう」と

大学名	現役合格延べ人数	実際の進学者数
関西大学	203名	35名
関西学院大学	112名	28名
同志社大学	62名	21名
立命館大学	68名	14名
近畿大学	181名	26名

いう動きが活発に行われた結果が、現役132名の国公立大学合格なのです。

さて、こんな△△高校ですが、関関同立の実績はどうでしょう？それを示したのが左の表です。関関同立述べ合格者数445名です。布施高校で躍進したといわれた69期生の168名の2.5倍以上の実績です。しかし、実際の進学者数を見てください。進学者数は極端に少ないのです。もうわかりますよね、△

△高校の生徒は、国公立を第一志望に考えて、関関同立を滑り止めとして大学受験を考えているということです。

何が言いたいかわかりますか？〇〇高校で関関同立を第一志望に考えている3年生の競争相手には、△△高校のような受験生もたくさんいるということです。「ソト」を見るとは、このような「ソト」の受験生が何を考え、どのように勉強し、どこまで頑張っているのか、を身近でみて、刺激を受けることだと思います。

もし、この夏に塾や予備校の夏期講習などを受講しようと思っている人、できるならば〇〇高校よりも上位の学校の生徒が通う予備校や塾の講習を受けてください。その方が、あなたたちのためです。井の中の蛙になってはだめです。

ライバルは、〇〇高校以外にたくさんいる！

そのことを知ってください。

【4】最後に・・・授業アンケートについて

7月の期末考査最終日に実施した授業アンケートについて話をします。今年の授業アンケートは、昨年度までと違い、自由記述を大胆に導入しました。私が先生方をお願いして導入したアンケートです。目的は、一つ！

〇〇高校の授業の質を高めるため！

です。今までの授業アンケートは、データだけが先生に還元されました。良い数値もそうでない数値も、その裏にある生徒の生の声が伝わりにくかったと思っています。そこで「良かった点」「改善してほしい点」という項目を設けて、生徒の生の声を先生方に届けようとしたのです。

アンケートが終わってすぐに自由記述を全部読みました！君たちに「ありがとう！」と大きな声で言いたい。良かった点も改善してほしい点も具体的に書いてありました。良かった点を読んだ先生は、さらに良い授業をされるだろうし、改善点を読まれた先生は、「なるほど！生徒はこういうふうに思っていたのか・・・」と自らを振り返られると思います。これから、データの処理と自由記述の処理を行いますので、まだ先生方の目には触れていませんが、8月の終わり頃には先生方に還元されると思います。

残念な点が1点。2か所ほど先生方への誹謗中傷、人格を攻撃する記述がありました。約束通り、そのような記述は、先生方には還元しません。言いたいことがあれば、きちんと相手に伝わるように書いてくださいね。

それでは・・・今度は8月の始業式で会いましょう！